



日本歯科色彩学会
http://www.jacd-dc.jp

日本歯科色彩学会 ニュースレター No.53

日本歯科色彩学会事務局 日本大学松戸歯学部保存修復学講座内
〒271-8587 千葉県松戸市栄町西2丁目870番1

発行人／池見宅司 TEL&FAX／047-360-9357
発行日／平成24年4月5日

第20回日本歯科色彩学会総会・学術大会開催に向けて

1993（平成5）年11月13日（土）14日（日）、昭和大学病院入院棟・新臨床講堂において本会の設立総会が開催された。設立時の名称は日本歯科色彩研究会であった。2年後の1995年から日本歯科色彩学会へ改称され以後毎年総会と学術大会が開催され本年2012年は第20回目の大会が開催されることとなる。

会の組織としては小さな学会である。しかし多くの原著論文および大会発表の内容と発表数などから、多くの研究テーマが掲げられuniqueな学会として他の関連する学会からも注目されている。また歯科界へ寄与していることも伺っており歯科と色彩というテーマに特化した極めてめずらしい学術研究団体であると言える。

そうした研究の成果を支えている背景に分科会の活動があげられる。各年1回程度それぞれ開催されている。見学会は色彩に関係する企業はじめ歯科材料メーカーの協力により開催され、講習会が同時開催されるようになった。さらに認定士制度を発足して色彩の実務的な知識獲得の活動とした講習会も行われている。会員向けのニュースレターの発行など全てが会員の下支えがこれまでの活動として機能している。ホームページの開設も小さな学会であるにもかかわらず他学会に伍して早くから利用されていて、これも組織機能を支えていることなど上げられる。

ところで20回大会という節目は一区切りとして記念すべきことであるが、これから歯科の色彩に関する研究がどのような課題がなされるかという大きな視点も同時に考えなければならない。何よりも多くの参加を

期待しているが技工士、医師、衛生士はじめ、歯科に関連する企業の参加をもっと期待したい。もともと色彩という領域が学際的であることからそれぞれの専門領域に捕われず、国内外とのinterdisciplinaryな交流はもっと期待できると思われる。そのために未だ着手していない課題も多く残されている。強いて考えるならばホームページは言わば国際標準言語ともいえる英文表記を併記するなどの工夫も対応すべき時かもしれない。既に数ヶ月後には記念すべき節目となる20回目の学術大会が開催される。

歯科という領域外の情報化社会の歯科という限られた領域だけで捕われることは情報化社会における必要な対応を見逃すことにつながるだろう。そうした意味から大会における特別講演は幅広い領域からそれぞれの専門家あるいは著名人を過去には特別講師としてお招きしてきた。

今年は「はやぶさの帰還」で数々の話題を提供した分析チームリーダーの矢野創氏をお迎えし特別記念講演が予定され市民公開講座が開催されます。なおはやぶさに関する詳細な紹介は以下HPでJAXAの働きを通して見ることができるので併せてご覧下さい。
<http://spaceinfo.jaxa.jp/hayabusa/index.html>

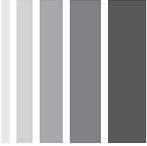
第20回大会のホームページから参加申込み他タイムスケジュールなどをご覧いただけます。これから歯科に関する色彩の研究があらたにはじまる期待を待ち望みたいと思います。

（ニュースレター編集委員会）



見学会報告

永井茂之



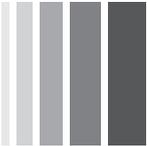
1月19日(木)に2011年度の日本色彩学会見学会が東京都文京区のGC Corporate Centerで行われたので報告する。当日のスケジュールは午後2時45分から3時50分までGC社の研究員による色彩に関連する器材の紹介、その後午後4時55分までジーシーコーポレートセンター内の見学が行われた。器材の紹介ではGCの取り扱い漂白剤ティオン及び1月23日から新しく発売されたコンポジットレジンMIローフローペーストが紹介された。学術研究課の山口氏による「ティオンオフィスを安全にお使い頂く為に」では、一般的に知られている漂白剤の作用機序の説明の後、特に施術中は口唇の保湿に注意が必要であるということであった。次に新しく開発されたコンポジットレジンMIローフローについて研究所の中山氏から開発、発売にいたるまでの様々な研究成果の提示があり興味をひいた。松風ビューティフルやトクヤマエステライト等、他社製品との色調の比較や、レイリー散乱とミー散乱はフィラーの大きさとの関係で透明感や質感を変化させるという実験結果が示された。また、既存のコンポジットレジンとの光透過性の違いを利用して積層充填で臨床に応用することで良好な審美性が得られることが示唆された。歯科色彩学的にはVITAクラシカルシェードガイドに忠実にレジン色を再現しようとする研究及び努力に対し、開発研究者にも、もっと歯科色彩について勉強して頂きたいと感じた。本学会員であればそのような無駄な努力に会社の研究費を使う事も無く、エンドユーザーにより色彩学的に優れた商品開発

が進められたであろう。短い時間での講演ではあったが、新商品は素晴らしい物性と操作性を兼ね備えた色はイマイチなコンポジットレジンであるとの印象であった。続いてセンター内を見学したが、特にGC社による誘導や説明があるわけでは無く、皆三々五々展示を見たり、突っ立っている社員に質問をしてみたりとゆったりとした時間を過ごした。センター内で特筆すべきはトレーニングフロアで、28名が実習できる研修施設であり、モニターやマイクロスコプが配置された素晴らしい環境が整えられていた。歯科色彩学的には全てのフロアは北向きの採光で、穏やかな光が室内に満ちており快適に過ごす事が出来た。約1時間ほどのセンター内散策の後、池見会長が閉会を宣言され、GC社からは参加者に心ばかりのサンプルが2～3点配布された。大歓迎された前年度のトクヤマ筑波研究所に続き企業訪問を行ったが、それぞれ協力のされかたの違いが明確に現れており大変興味深い体験ができた。企業側の都合ではあるが開業医は平日の午後を休診して参加せねばならず、見学委員会は企業選定、企業との事前打ち合わせ等をよりいっそう詰める必要があると感じた。その後、場所を移して懇親会が行われた。池見会長をはじめ、日大松戸保存修復学講座らしい暖かいアットホームな懇親会で、イタリア家庭料理を楽しんだ。とりあえず懇親会が楽しかったので良い一日を過ごした気分で皆帰宅の徒につくことができた。



9月のシカゴは寒い

明海大学 片山 直(保存修復学)



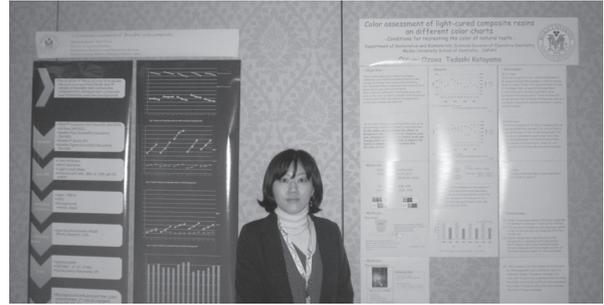
シカゴといえば5大湖の一つであるミシガン湖南西岸に位置する。都市圏人口では924万人で世界第28位(ちなみに名古屋圏は27位)、同国3位と大都市である。野球ならカブスやホワイトソックス、フットボールではベアーズ、バスケットボールではブルズと有名なチームの本拠地となっている。土産物にも各チームの服、小物が数多く売られている。そして、数多くの美術館に加え、シカゴ交響楽団もある。

ベアーズの試合も始まっている。美術館には印象派の絵も数多くある。交響楽団にはムーティーがいる。こんなシカゴはいいんじゃないかと行きましたが、あまり時間的に余裕がありませんでした。SCAD(Society for Color and Appearance in Dentistry) 3rd Annual Conferenceは2011年9月23、24日の2日間で、初日の23日の朝は7時からポスターを貼る時間になっていました。



その後、午前中にはVital bleaching(Heymann HO)、Direct restoration (Swift EJ)、Poster viewing, Color of digital(Kugel G)などの講演が続き、昼となった。お昼はLunch and Learnで5グループに分かれた。我々(片山、小澤有美)は、歯科色彩の文献でおなじみのPowers JMよりCAD/CAMについての講演を聞いた。この時ハーバード大学のNagai S(岩手医大出身)も講演されました。そして午後も午前と同じように講演が夕方まで続いた。会場は眠気防止なのか寒くて辛かった。2日目も同じような状況でしたが、講演の内容は興味深かったので記します。

- Perspectives on the measurement and clinical meaning of translucency
 - Examining light transmission of esthetic restorative materials
 - Tooth enamel structure and interaction with light
 - Dental photography excellence (photo demoも)
- 講演時間は30分もあれば1時間もあるとバラバラ



で、ひとつの講演の時間が短くて聞きやすかった。休憩時には展示品を見てまわると古いビタのシェードガイドがありました。「触るな」なんて書いてありましたがみなさん、わりと平気で触っていました(写真)。

さて夜の食事ですがポスター発表されていた長崎大の細矢由美子先生にご紹介いただき、ステーキを食べに行きましたが、アメリカの肉はまずいとは言わせなといった感じの美味しいものでした。そこまではハッピーだったのですが、帰りはとても寒かったです。

結論とし、とても有意義な学会であるが日本の9月とは天候が違い、この季節に好んで行きたくありませんというのが感想です。ちょっと若さがありません。今年も9月28日にあるようです。行かれる先生は若い先生でも、暖かくして行かれるようにしてください。

SCADは第3回とあるように新しい学会で、本学会の方が歴史があります。この学会と競争しながら歯科色彩の発展に寄与したと思います。(敬称は略しました)



新入会員

高橋英和 東京医科歯科大学歯学部
 玄 太祐 朝日大学歯学部
 野田陽子 朝日大学歯学部
 山口博康 鶴見大学歯学部
 庫山未希 埼玉県

小林一行 鶴見大学歯学部
 長野孝俊 鶴見大学歯学部
 王 富 東京医科歯科大学歯学部
 佐藤郁夫 (元セリック賛助会員、賛助会員退会)

2010年度 日本歯科色彩学会 決算報告

2010年4月1日～2011年3月31日

科 目		2010年度 予算	2010年度 決算	増 減 (△は超過)	執行率	備 考	
款	項						
歳入の部	1, 会 費 収 入	2,165,000	1,785,000	380,000	82%		
		1, 入会金	75,000	25,000	50,000	33%	5,000 × 5名(昨年度4名)
		2, 本年度会費	1,720,000	1,280,000	440,000	74%	10,000 × 128名(会員数186名、納入率69%)
		3, 過年度会費	100,000	270,000	△ 170,000	270%	10,000 × 27名(08年分8名、09年度19名)
		4, 賛助会費	270,000	210,000	60,000	78%	30,000 × 7社
	2, 事 業 収 入	640,000	625,689	14,311	98%		
		1, 論文掲載料	400,000	385,497	14,503	96%	歯科の色彩16巻1号 5件
		2, 広告掲載料	200,000	189,000	11,000	95%	歯科の色彩16巻1号 4件
		3, 講習・見学会等	40,000	51,192	△ 11,192	128%	18回大会
	3, 雑 収 入	45,000	25,178	19,822	56%		
		1, 著作・印税等	40,000	25,164	14,836	63%	学術著作権協会 14,358 クイント印税 5,346 その他 5,460
		2, 雑入	5,000	14	4,986	0.3%	銀行利息 14
	当 期 収 入 合 計		2,850,000	2,435,867	414,133	85%	
前 期 繰 越 金		4,067,871	4,067,871	0	100%		
収 入 合 計		6,917,871	6,503,738	414,133	94%		

科 目		2010年度 予算	2010年度 決算	増 減 (△は超過)	執行率	備 考	
款	項						
歳出の部	1, 事 業 費	2,120,000	2,140,943	△ 20,943	101%		
		1, 学術大会運営費	500,000	500,000	0	100%	第19回大会 東京医科歯科大学 500,000
		2, 学会誌	1,070,000	1,233,885	△ 163,885	115%	歯科の色彩第16巻1号(17号)
		3, ニュースレター費	70,000	65,378	4,622	93%	ニュースレター 49号 32,482 50号 32,896
		4, 調査研究費	75,000	90,000	△ 15,000	120%	歯学系学会協議会 50,000 成人矯正歯科 20,000 国際歯科大会 20,000
		5, ホームページ維持費	105,000	113,400	△ 8,400	108%	
		6, 講習・見学会費	300,000	138,280	161,720	46%	講習会講師謝礼 100,000 見学会資料作成 31,000 見学会案内 7,280
	2, 管 理 費	670,000	523,880	146,120	78%		
		1, 会議費	80,000	47,821	32,179	60%	常任理事会2回 5,286 編集委員会2回 42,535
		2, 交通費	220,000	237,500	△ 17,500	108%	常任理事会2回 224,500 編集委員会2回 13,000
		3, 渉外費	30,000	0	30,000	0%	
		4, 通信連絡費	140,000	107,250	32,750	77%	ニュースレター 38,520 雑誌、書類郵送 32,890 振込手数料 4,670 会議案内 31,170
		5, 事務委託費	120,000	120,000	0	100%	事務局諸経費 10,000 × 12
		6, 事務費	80,000	11,309	68,691	14%	文具 11,309
	3, 雑 費	40,000	0	40,000	0%		
	4, 予 備 費	20,000	0	20,000	0%		
	当 期 支 出 合 計		2,850,000	2,664,823	185,177	94%	
	当 期 収 支 差 額		0	228,956	△ 228,956	—	
	次 期 繰 越 金		4,067,871	3,838,915	228,956	—	

上記2010年度収支決算は慎重監査の結果、相違ないものと認めます

2011年3月31日

神津 瑛 印

印

片山伊九右衛門

印

2011年度 日本歯科色彩学会 予算(案)

2011年4月1日～2012年3月31日

科 目		2010年度 予算	2011年度 予算	増 減 (△は減)	増減率 (△は減)	備 考	
款	項						
歳入の部	1, 会 費 収 入	2,165,000	2,165,000	0	0%		
	1, 入会金	75,000	75,000	0	0%	5,000 × 15名	
	2, 本年度会費	1,720,000	1,600,000	△ 120,000	△9%	10,000 × 200名 × 80% (4月1日現在会員数 186名)	
	3, 過年度会費	100,000	220,000	120,000	120%	10,000 × 22名	
	4, 賛助会費	270,000	270,000	0	0%	30,000 × 9社	
	2, 事 業 収 入	640,000	640,000	0	0%		
	1, 論文掲載料	400,000	400,000	0	0%		
	2, 広告掲載料	200,000	200,000	0	0%		
	3, 講習・見学会等	40,000	40,000	0	0%		
	3, 雑 収 入	45,000	45,000	0	0%		
	1, 著作・印税等	40,000	40,000	0	0%		
	2, 雑入	5,000	5,000	0	0%		
	当期収入合計		2,850,000	2,850,000	0	0%	
	前期繰越金		4,067,871	3,838,915	△ 228,956	—	
収入合計		6,917,871	6,688,915	△ 228,956	—		

科 目		2010年度 予算	2011年度 予算	増 減 (△は減)	増減率 (△は減)	備 考	
款	項						
歳出の部	1, 事 業 費	2,120,000	2,120,000	0	0%		
	1, 学術大会運営費	500,000	500,000	0	0%		
	2, 学会誌	1,070,000	1,070,000	0	0%		
	3, ニュースレター費	70,000	70,000	0	0%		
	4, 調査研究費	75,000	75,000	0	0%		
	5, ホームページ維持費	105,000	105,000	0	0%		
	6, 講習・見学会費	300,000	300,000	0	0%		
	2, 管 理 費	670,000	670,000	0	0%		
	1, 会議費	80,000	80,000	0	0%		
	2, 交通費	220,000	220,000	0	0%		
	3, 渉外費	30,000	30,000	0	0%		
	4, 通信連絡費	140,000	140,000	0	0%		
	5, 事務委託費	120,000	120,000	0	0%		
	6, 事務費	80,000	80,000	0	0%		
	3, 雑 費	40,000	40,000	0	0%		
	4, 予 備 費	20,000	20,000	0	0%		
	当期支出合計		2,850,000	2,850,000	0	0%	
	当期収支差額		0	0	—	—	
	次期繰越金		4,067,871	3,838,915	△ 228,956	—	

2011年度 日本歯科色彩学会 認定士委員会 予算(案)

2011年4月1日～2012年3月31日

歳入の部	科 目		2011年度	2010年度	増減	増減率	備 考
	款	項	予算	予算	(△は減)	(△は減)	
	1.	登録料収入	200,000	240,000	△ 40,000	△ 17%	
		1. 申請料	50,000	50,000	0	0%	10,000 × 5名
		2. 登録料	150,000	150,000	0	0%	30,000 × 5名
		3. 更新料	0	40,000	△ 40,000	—	20,000 × 0名
	2.	事業収入	0	0	0	—	
		1. 講習会参加費	0	0	0	—	
		2. その他	0	0	0	—	
	3.	雑収入	0	0	0	—	
		1. 雑入	0	0	0	—	
	当期収入合計		200,000	240,000	△ 40,000	△ 17%	
	前期繰越金		3,190,713	3,190,004	709	0%	
	収入合計		3,390,713	3,430,004	△ 39,291	△ 1%	

歳出の部	科 目		2011年度	2010年度	増減	増減率	備 考
	款	項	予算	予算	(△は減)	(△は減)	
	1.	事業費	370,000	370,000	0	0%	
		1. 講習会開催費	100,000	100,000	0	0%	
		2. 出版物	150,000	150,000	0	0%	
		3. その他	120,000	120,000	0	0%	
	2.	管理費	260,000	260,000	0	0%	
		1. 会議費	50,000	50,000	0	0%	
		2. 交通費	50,000	50,000	0	0%	
		3. 費用弁償費	50,000	50,000	0	0%	
		4. 通信連絡費	50,000	50,000	0	0%	
		5. 事務費	60,000	60,000	0	0%	
	3.	雑費	20,000	20,000	0	0%	
	4.	予備費	200,000	200,000	0	0%	
	当期支出合計		850,000	850,000	0	0%	
	当期収支差額		-650,000	-610,000	△ 40,000	—	
	次期繰越金		2,540,713	2,580,004	△ 39,291	△ 2%	

会員のメールアドレスを学会事務局宛へお知らせ下さい

編 集 後 記

印象評価指数というパラメータによって対象とする室内、建物からファッションなどの画像を取り込んで評価するというソフトが既に発売されています。パラメータ指数の解析内容は色数と彩度をあらかじめ印象評価しておいたテーブルと突き合わせ、0から100で良い、普通、悪いといった判定を行うようです。

人が介在しなくても判断ができる、とはいうも

のの何か虚しさを覚えました。良いとは何か、それが分かるまで苦勞します、と言われたのも個人でデミング賞を受賞された納谷嘉信先生でした。歯の色は透明感があるから難しいでしょうとも言われたことを思い出します。第20回の大会がまもなく開催されますが活発な議論の場となりますように。

(元香昭夫)